

有峰蛾類分布調査-13

有峰森林文化村

【実施日時】 2022年10月29日(土)17:30～10月30日(日)6:00

【天候】 曇→晴れ 【気温】 8.6～1.5℃

【月齢】 3.7 (中潮) →4.7 (中潮)

【実施方法】 灯火採集法 (ライトトラップ)

【場所】 有峰ビジターセンター裏(北側)

第13回目の蛾類分布調査を令和4年10月29日(土)～30日(日)に実施しました。10月24日に実施した12回目と同様、紅葉が進展する晩秋に発生するウスタビガの飛来を期待して、17時30分にライトオンしました。今回の調査では、ヤママユガ科はヒメヤママユ♂1頭が20:30に飛来しました。期待したウスタビガの飛来はありませんでした。ヤママユガ科以外には、シャクガ科はカバエダシャク、ヤガ科はゴマダキリガとキトガキリガが、シャチホコガ科はアオバシャチホコが飛来しました。カバエダシャク幼虫の食餌植物は、ヤナギ科、ブナ科、マンサク科、バラ科、モクセイ科などで広食性で知られています。ゴマダラキリガ幼虫の食餌植物は、ブナ科のミズナラなどです。キトキリガ幼虫の食餌植物は、ブナ科のミズナラやバラ科のサクラ類と考えられています。ヤガ科のキリガは、晩秋・早春という他の昆虫が越冬している時期に活動するヤガ科の一群のことを示します。灯火にも飛来しますが、糖蜜にも飛来することから、糖蜜採集にもチャレンジしたいと考えています。一方、アオバシャチホコ幼虫の食餌植物はミズキ科のミズキヤクマノミズキであることが知られています。また当日は星空観察会の開催があり、終了後に参加者の希望によりライトトラップを見学され、飛来したヤママユなどの蛾類を観察いただきました。

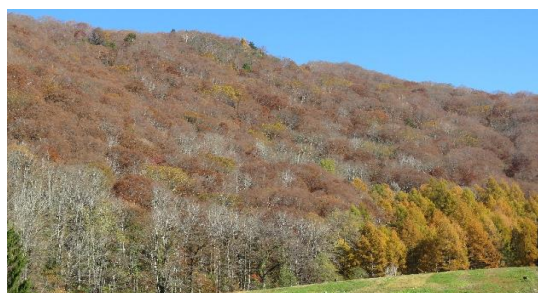
【参考文献】

- 1) 富山県昆虫同好会編：有峰の昆虫相/有峰の自然別冊 (1981年7月)
- 2) 中川秀幸他：常願寺川流域(有峰地区)自然環境調査報告：有峰の昆虫類 (1996年)
- 3) 岸田泰則著：日本産蛾類標準図鑑Ⅱ/学研
- 4) 岸田泰則他著：日本のヤママユガ/(有)むし社
- 5) 小林秀紀編：日本の冬夜蛾(キリガ)/月刊むし・昆虫図説シリーズ8

科名	種名	飛来頭数	飛来時間帯
ヤママユガ	ヒメヤママユ	♂1	20:20
シャクガ	カバエダシャク	♂7	19:30～3:20
ヤガ	キトガキリガ	♂4	19:40～22:50
	ゴマダラキリガ	♂3	20:30～22:40
シャチホコガ	アオバシャチホコ	♂	2:40



ライトトラップの様子(20:30)



紅葉進展中の猪根山 10月30日撮影



ヒメヤママユ♂



カバエダシャク♂



カバエダシャク♂



ゴマダラエダシャク♂



キトガリキリガ♂



アオバシャチホコ♂



飛来したヒメヤママユ観察中の参加者



ヒメヤママユ撮影中の参加者